静岡新聞で学ぼう

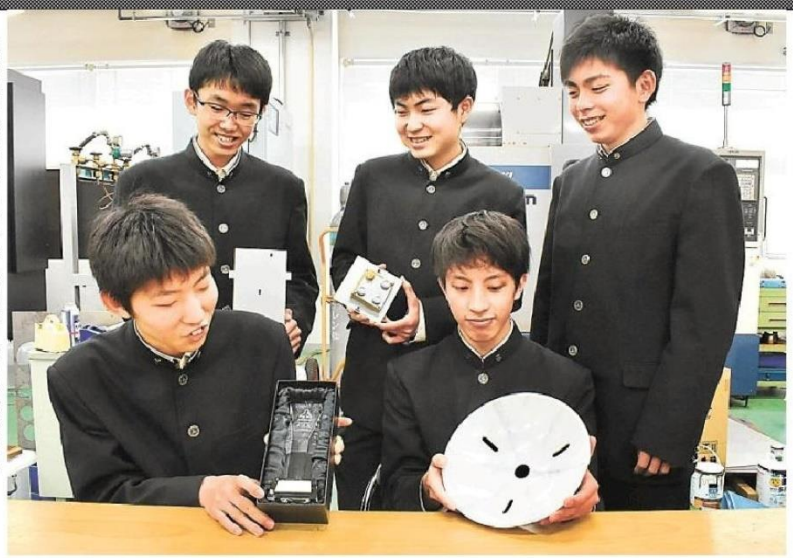
Newspaper in Education

静岡新聞

全国人工衛星・探査機模型コンテスト

科学技術高 準GP

静岡市葵区の県立科学技術高の3年生5人がこのほど、岐阜県各務原市などが主催する「全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト」の高校生部門で、準グランプリにあたる各務原市長賞を受賞した。



各務原市長賞の盾を前に、笑顔を見せる生徒たち＝静岡市葵区の県立科学技術高

10分の1「はやぶさ2」製作

機械工学科の4人と電子工学科の1人がチームを組み、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の小惑星探査機「はやぶさ2」を題材に、10分の1スケールの模型を製作。パソコンで図面を描いた後、3Dプリンターを駆使して作った細かい部品を組み合わせながら、約半年間かけて完成させた。

書面審査を通過した7作品の中から、JAXAの専門家らによる審査を経て選ばれた。機械工学科の越前谷海翔さん(17)は「苦しい時期もあったが、頑張った努力が報われた」と喜びを語った。（社会部・池田悠太郎）

2020年4月12日朝刊

① 記事の科学技術高校が製作した小惑星探査機の模型は何を題材にしたものか。5文字で書きなさい。

② 科学技術高校が模型製作にかけた時間はどのくらいか、書きなさい。

[　　]

③ 科学技術高校の模型製作で、「工夫している」と思った点を30字以内で書きなさい（句読点を含む）。

年　　組　　名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター　矢沢和宏

（小学校高学年～高校／理科・技術）